



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月14日

上場会社名 株式会社幸和製作所 上場取引所 東
コード番号 7807 URL <https://kowa-seisakusho.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 秀明
問合せ先責任者 (役職名) 管理部部长 (氏名) 畑野 秀明 TEL 072 (238) 0605
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有（当社ホームページ）
四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	1,740	3.4	334	47.2	318	46.8	209	52.5
2023年2月期第1四半期	1,683	—	227	3.2	216	0.9	137	△4.1

（注）包括利益 2024年2月期第1四半期 222百万円（5.6％） 2023年2月期第1四半期 210百万円（2.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	43.63	43.32
2023年2月期第1四半期	27.60	27.40

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第1四半期	5,151	2,605	49.5	533.52
2023年2月期	5,156	2,481	47.0	501.52

（参考）自己資本 2024年2月期第1四半期 2,548百万円 2023年2月期 2,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	0.00	—	11.00	11.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,306	4.4	414	41.0	412	38.4	272	45.3	56.38
通期	6,347	1.3	706	8.8	707	6.2	455	4.0	94.21

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期1Q	4,986,790株	2023年2月期	4,986,790株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	209,606株	2023年2月期	149,606株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期1Q	4,807,252株	2023年2月期1Q	4,982,784株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として確約する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料については、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化するロシア・ウクライナ問題に端を発したエネルギー価格の高騰や過去に類を見ない物価高騰の影響を受けつつも、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行したことによるインバウンド需要や全国旅行支援等の社会活動正常化への動きにより、個人消費を中心とした持ち直しの動きが見られました。しかしながら、為替相場による円安の長期化や金融環境の先行き懸念等により、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、効率的かつ安定的な経営を目指すべく、日々の業務改善やコスト削減を念頭においた経営を推進し、利益率向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、当社の主力カテゴリーである歩行関連商品の出荷が堅調に推移した結果、17億40百万円（前年同期比3.4%増）となり、売上総利益は、8億26百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

また、運賃をはじめとする物流費高騰の影響があったものの、収益改善のための様々な施策の実施かつ徹底的なコスト削減等の経営活動を推進した結果、営業利益は3億34百万円（前年同期比47.2%増）となりました。また、営業外収益として賃貸収入12百万円、営業外費用として支払利息5百万円および為替差損16百万円等を計上した結果、経常利益3億18百万円（前年同期比46.8%増）ならびに税金等調整前四半期純利益3億18百万円（前年同期比46.8%増）となりました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税79百万円および法人税等調整額27百万円等を計上したことにより2億9百万円（前年同期比52.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①介護用品・福祉用具製造販売事業

介護用品・福祉用具製造販売事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、チェーンストアルート、介護ルートともに堅調に推移した結果、15億61百万円（前年同期比3.2%増）となりました。セグメント利益は3億79百万円（前年同期比40.8%増）となりました。

②介護サービス事業

介護サービス事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、介護保険における住宅改修売上および福祉用具レンタルにかかる新規利用者の獲得が堅調に推移したものの、福祉用具レンタルにかかる解約単価が新規契約単価を上回ったこと等が影響し、43百万円（前年同期比0.2%増）となりました。セグメント損失は1百万円（前年同期はセグメント損失0百万円）となりました。

③EC事業

EC事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行したことにより個人消費を中心とした持ち直しの動きがみられるなか、車いす・シルバーカー等の販売も堅調に推移した結果、1億91百万円（前年同期比8.7%増）となりました。セグメント利益は7百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して57百万円増加し、34億31百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金2億63百万円、商品及び製品54百万円等の増加要因が、現金及び預金2億25百万円、その他に含まれる未収入金28百万円等の減少要因を上回ったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して62百万円減少し、17億19百万円となりました。これは主に、有形固定資産に含まれる使用権資産17百万円、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産15百万円等の減少によるものであります。

(負債および純資産の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して60百万円減少し、16億67百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金61百万円、未払法人税等44百万円等の減少要因が、未払金47百万円等の増加要因を上回ったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して68百万円減少し、8億78百万円となりました。これは主に、返済による長期借入金53百万円等の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1億24百万円増加し、26億5百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2億9百万円、為替換算調整勘定16百万円等の増加要因が、配当の支払い48百万円、自己株式の取得49百万円等の減少要因を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、景気持ち直しが期待されておりますが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、世界的なインフレや円安などの経済に与える影響により、先行きは不透明なことから、業績予想は据え置くことといたしました。従いまして、2023年4月14日にて公表いたしました連結業績予想の変更はありません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は、市場環境の様々な要因により変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,239,085	1,013,384
受取手形及び売掛金	831,386	1,095,297
商品及び製品	1,082,512	1,137,280
仕掛品	14,195	8,424
原材料及び貯蔵品	99,228	89,485
その他	107,635	87,907
流動資産合計	3,374,043	3,431,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	362,718	355,576
機械装置及び運搬具（純額）	6,433	7,373
土地	641,388	641,388
リース資産（純額）	2,400	2,200
使用権資産（純額）	368,694	351,536
その他（純額）	87,332	81,112
有形固定資産合計	1,468,967	1,439,187
無形固定資産		
のれん	17,328	12,996
リース資産	11,231	10,461
その他	64,055	60,280
無形固定資産合計	92,615	83,738
投資その他の資産		
投資有価証券	134,227	128,057
繰延税金資産	49,361	34,038
その他	37,127	34,909
投資その他の資産合計	220,716	197,005
固定資産合計	1,782,298	1,719,931
資産合計	5,156,342	5,151,712

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	878,369	816,915
1年内返済予定の長期借入金	222,748	220,078
リース債務	110,402	113,954
未払金	295,871	343,315
未払法人税等	128,818	84,201
賞与引当金	28,369	16,193
その他	63,909	73,112
流動負債合計	1,728,488	1,667,771
固定負債		
長期借入金	569,634	515,912
リース債務	328,366	306,227
資産除去債務	1,098	1,098
退職給付に係る負債	10,104	7,791
その他	37,628	47,152
固定負債合計	946,831	878,181
負債合計	2,675,320	2,545,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,072	51,072
資本剰余金	1,618,795	1,618,795
利益剰余金	803,963	965,346
自己株式	△112,492	△161,614
株主資本合計	2,361,339	2,473,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,282	△32,553
為替換算調整勘定	90,889	107,655
その他の包括利益累計額合計	64,607	75,102
非支配株主持分	55,075	57,056
純資産合計	2,481,021	2,605,759
負債純資産合計	5,156,342	5,151,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	1,683,578	1,740,726
売上原価	948,751	913,989
売上総利益	734,827	826,736
販売費及び一般管理費	507,394	492,040
営業利益	227,432	334,696
営業外収益		
受取利息	387	553
受取手数料	206	193
デリバティブ評価益	21,997	—
賃貸収入	9,413	12,829
補助金収入	3,550	40
その他	611	325
営業外収益合計	36,166	13,942
営業外費用		
支払利息	6,320	5,414
賃貸費用	4,723	5,785
為替差損	35,557	16,250
その他	199	2,910
営業外費用合計	46,801	30,361
経常利益	216,797	318,276
税金等調整前四半期純利益	216,797	318,276
法人税、住民税及び事業税	49,633	79,121
法人税等調整額	27,999	27,418
法人税等合計	77,633	106,539
四半期純利益	139,164	211,736
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,624	1,981
親会社株主に帰属する四半期純利益	137,540	209,755

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	139,164	211,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△970	△6,271
繰延ヘッジ損益	28,958	—
為替換算調整勘定	43,255	16,766
その他の包括利益合計	71,242	10,494
四半期包括利益	210,407	222,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,782	220,250
非支配株主に係る四半期包括利益	1,624	1,981

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

自己株式の取得

当社は、2023年2月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式60,000株の取得を行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が49,122千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が161,614千円となっております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)
報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額(注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注)2
	介護用品・福祉用具製造販売事業	介護サービス事業	EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,463,942	43,031	176,604	1,683,578	—	1,683,578
セグメント間の内部売上高又は振替高	49,450	—	—	49,450	△49,450	—
計	1,513,393	43,031	176,604	1,733,029	△49,450	1,683,578
セグメント利益又は損失(△)	269,727	△924	8,274	277,077	△49,644	227,432

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△49,644千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△48,871千円、取引高の消去2,160千円、棚卸資産の調整△1,611千円およびその他の調整額△1,321千円が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額(注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注)2
	介護用品・福祉用具製造販売事業	介護サービス事業	EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,505,645	43,121	191,958	1,740,726	—	1,740,726
セグメント間の内部売上高又は振替高	56,136	—	—	56,136	△56,136	—
計	1,561,782	43,121	191,958	1,796,862	△56,136	1,740,726
セグメント利益又は損失(△)	379,752	△1,844	7,471	385,379	△50,683	334,696

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△50,683千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△49,507千円、取引高の消去2,010千円、棚卸資産の調整△2,849千円およびその他の調整額△337千円が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。